



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月7日

上場会社名 兼房株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 5984 URL <http://www.kanefusa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 渡邊 将人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 佐築 賢治 TEL 0587-95-2821
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,846	14.3	981	36.7	1,346	77.6	871	55.5
2022年3月期第2四半期	9,490	—	718	—	758	—	560	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,999百万円 (60.9%) 2022年3月期第2四半期 1,243百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	62.69	—
2022年3月期第2四半期	40.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	34,325	27,179	79.2
2022年3月期	31,636	25,478	80.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 27,179百万円 2022年3月期 25,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	7.50	—	21.50	29.00
2023年3月期	—	7.50	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	24.00	31.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,100	7.3	1,880	6.4	2,070	7.7	1,440	8.1	103.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	14,310,000株	2022年3月期	14,310,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	409,732株	2022年3月期	409,732株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	13,900,268株	2022年3月期2Q	13,900,295株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州では、金融引き締めが続くなか、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー供給への懸念や物価高が景況感を押し下げており、中国では、ゼロ・コロナ政策への固執により社会活動が制約され景気回復が鈍化しております。一方、わが国経済は、資源高と急激な円安の同時進行による物価の上昇圧力が、景気の停滞感を強め、経済の先行きを不透明なものにしております。

このような状況の下、当社グループは生産性の維持・向上、顧客への訪問やオンライン会議を活用し、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の販売拡大により前年同期を上回る結果となりました。国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から増加しました。また、海外での売上も、米国およびアジア向けを中心に増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は108億4千6百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

利益面につきましては、生産性の向上など売上原価率が改善したことなどから、営業利益は9億8千1百万円（前年同期比36.7%増）、営業外収益として為替差益3億7千万円を計上したことなどから、経常利益は13億4千6百万円（前年同期比77.6%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億7千1百万円（前年同期比55.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

国内向けでは、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに増加し、海外向けでは自動車関連刃物および鋼管関連刃物が増加したことから、売上高は86億3千6百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は7億2千万円（前年同期比72.3%増）となりました。

② インドネシア

木工関連刃物および製紙関連刃物が増加したことから、売上高は21億8千2百万円（前年同期比57.6%増）、営業利益は2億2千1百万円（前年同期比95.6%増）となりました。

③ 米国

自動車関連刃物が増加したことから、売上高は9億3千万円（前年同期比30.4%増）、営業利益は7千万円（前年同期比66.0%増）となりました。

④ 欧州

製紙関連刃物および自動車関連刃物が増加したことから、売上高は12億8千3百万円（前年同期比18.6%増）、営業利益は1億6百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

⑤ 中国

大規模なロックダウンにより工場が一時操業を停止した影響により、売上高は9億6千万円（前年同期比2.8%減）、営業損失は4千5百万円（前年同期は5千8百万円の営業利益）となりました。

⑥ ベトナム

自動車関連刃物および鋼管関連刃物などが増加したことから、売上高は5億2千万円（前年同期比109.5%増）、営業利益は8千2百万円（前年同期は4百万円の営業利益）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期末における流動資産は199億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ17億3千3百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が9億3千7百万円増加し、商品及び製品が4億8千9百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は143億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億5千6百万円増加いたしました。これは投資その他の資産が1億2千8百万円減少したものの、有形固定資産が前連結会計年度末に比べ9億7千3百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は343億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億8千9百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期末における流動負債は48億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億8千8百万円増加いたしました。これは主に流動負債その他が7億1千6百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は22億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億円増加いたしました。これは主に長期借入金で2億2千4百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は71億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億8千8百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期末における純資産合計は271億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が12億3百万円増加し、利益剰余金が5億7千2百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.2%（前連結会計年度末は80.5%）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9億3千7百万円増加し、当第2四半期末には81億1百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は17億7千1百万円（前年同期比28.1%増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益13億9千7百万円、減価償却費8億6百万円、その他8億5千6百万円であります。支出の主な内訳は、法人税等の支払額5億8千9百万円、棚卸資産の増加5億1千6百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7億9千6百万円（前年同期比247.2%増）となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出9億1千万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億8千5百万円（前年同期は8億8千万円の取得）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額2億9千8百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、本日（2022年11月7日）公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,164,309	8,101,362
受取手形及び売掛金	3,749,606	3,948,555
電子記録債権	1,025,831	1,022,654
商品及び製品	2,585,540	3,074,796
仕掛品	1,109,956	1,212,150
原材料及び貯蔵品	1,768,995	2,143,593
その他	852,760	497,298
貸倒引当金	△19,838	△30,210
流動資産合計	18,237,163	19,970,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,141,067	4,186,082
機械装置及び運搬具(純額)	4,529,340	4,750,733
その他(純額)	2,984,618	3,691,863
有形固定資産合計	11,655,026	12,628,679
無形固定資産	797,959	909,830
投資その他の資産	946,084	817,273
固定資産合計	13,399,070	14,355,783
資産合計	31,636,234	34,325,984

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,697,487	1,709,071
電子記録債務	371,857	373,783
未払法人税等	466,924	389,384
賞与引当金	422,235	458,873
その他	1,200,564	1,916,798
流動負債合計	4,159,069	4,847,911
固定負債		
長期借入金	1,223,900	1,448,100
退職給付に係る負債	327,358	365,219
その他	447,164	485,199
固定負債合計	1,998,422	2,298,519
負債合計	6,157,492	7,146,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	20,596,898	21,169,396
自己株式	△208,768	△208,768
株主資本合計	24,698,519	25,271,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262,943	168,443
為替換算調整勘定	525,832	1,729,311
退職給付に係る調整累計額	△8,553	10,780
その他の包括利益累計額合計	780,222	1,908,535
純資産合計	25,478,741	27,179,552
負債純資産合計	31,636,234	34,325,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,490,841	10,846,330
売上原価	6,562,740	7,323,024
売上総利益	2,928,100	3,523,305
販売費及び一般管理費	2,209,799	2,541,379
営業利益	718,301	981,926
営業外収益		
受取利息	4,022	5,840
受取配当金	11,006	11,456
為替差益	25,098	370,723
助成金収入	—	1,352
その他	5,675	11,405
営業外収益合計	45,802	400,778
営業外費用		
支払利息	2,147	12,699
デリバティブ評価損	2,465	21,730
その他	1,081	1,420
営業外費用合計	5,693	35,850
経常利益	758,409	1,346,853
特別利益		
固定資産売却益	1,036	49,823
投資有価証券売却益	—	1,610
特別利益合計	1,036	51,433
特別損失		
固定資産売却損	—	20
固定資産除却損	799	988
特別損失合計	799	1,008
税金等調整前四半期純利益	758,646	1,397,278
法人税等	198,230	525,925
四半期純利益	560,416	871,353
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	560,416	871,353

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	560,416	871,353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90,675	△94,500
為替換算調整勘定	587,570	1,203,479
退職給付に係る調整額	4,411	19,334
その他の包括利益合計	682,657	1,128,313
四半期包括利益	1,243,074	1,999,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,243,074	1,999,666
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	758,646	1,397,278
減価償却費	810,197	806,441
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30,420	29,960
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,216	6,934
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15,144	18,863
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△24,835	△21,559
受取利息及び受取配当金	△15,028	△17,297
支払利息	2,147	12,699
為替差損益 (△は益)	45,311	△105,439
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,610
固定資産売却損益 (△は益)	△1,036	△49,803
売上債権の増減額 (△は増加)	△387,041	154,128
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△231,360	△516,093
仕入債務の増減額 (△は減少)	281,231	△240,118
未払又は未収消費税等の増減額	△174,153	21,995
その他	386,028	856,265
小計	1,493,453	2,352,646
利息及び配当金の受取額	15,028	17,297
利息の支払額	△1,715	△8,540
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△123,393	△589,721
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,383,373	1,771,681
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△216,926	△910,039
有形固定資産の売却による収入	1,429	125,778
有形固定資産の除却による支出	△560	△920
無形固定資産の取得による支出	△3,435	△3,604
投資有価証券の取得による支出	△6,556	△7,071
投資有価証券の売却による収入	—	2,640
貸付けによる支出	△3,904	△4,479
貸付金の回収による収入	528	1,183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△229,424	△796,513
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	990,000	—
リース債務の返済による支出	△25,872	△86,914
自己株式の取得による支出	△25	—
配当金の支払額	△83,401	△298,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	880,700	△385,770
現金及び現金同等物に係る換算差額	130,421	347,654
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,165,071	937,053
現金及び現金同等物の期首残高	4,923,103	7,164,309
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,088,175	8,101,362

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	ベトナム	計
売上高							
平刃類	2,023,455	920,683	144,664	283,636	206,801	12,339	3,591,579
精密刃具類	1,812,687	80,295	34,576	29,479	33,658	7,401	1,998,099
丸鋸類	3,734,566	340,093	520,480	767,077	740,280	228,187	6,330,686
商品他	327,931	44,085	13,632	1,384	7,216	597	394,847
顧客との契約から生じる収益	7,898,641	1,385,158	713,353	1,081,577	987,955	248,525	12,315,213
外部顧客への売上高	5,680,547	900,117	713,289	1,081,577	494,214	83,911	8,953,658
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,218,094	485,041	64	—	493,741	164,613	3,361,555
計	7,898,641	1,385,158	713,353	1,081,577	987,955	248,525	12,315,213
セグメント利益	418,336	113,329	42,560	112,769	58,845	4,834	750,675

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	66,083	3,657,663	△693,891	2,963,771
精密刃具類	19,940	2,018,039	△106,890	1,911,149
丸鋸類	440,343	6,771,030	△2,283,640	4,487,389
商品他	12,630	407,477	△278,947	128,529
顧客との契約から生じる収益	538,997	12,854,210	△3,363,369	9,490,841
外部顧客への売上高	537,183	9,490,841	—	9,490,841
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,814	3,363,369	△3,363,369	—
計	538,997	12,854,210	△3,363,369	9,490,841
セグメント利益	64,937	815,612	△97,311	718,301

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、ブラジル及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△97,311千円には、セグメント間取引消去27,718千円、棚卸資産の調整額△118,311千円、その他△6,718千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	ベトナム	計
売上高							
平刃類	2,104,185	1,464,774	180,840	392,542	268,670	32,344	4,443,357
精密刃具類	1,897,091	101,243	44,334	16,869	24,702	9,431	2,093,673
丸鋸類	4,158,054	549,513	687,895	871,682	660,491	478,574	7,406,212
商品他	476,998	67,177	17,396	2,118	6,469	429	570,590
顧客との契約から生じる収益	8,636,330	2,182,708	930,467	1,283,212	960,333	520,780	14,513,833
外部顧客への売上高	5,979,243	1,273,285	930,261	1,283,212	472,834	122,723	10,061,560
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,657,086	909,422	206	—	487,499	398,057	4,452,273
計	8,636,330	2,182,708	930,467	1,283,212	960,333	520,780	14,513,833
セグメント利益又は損失(△)	720,646	221,639	70,635	106,213	△45,140	82,815	1,156,810

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	106,188	4,549,545	△1,024,854	3,524,691
精密刃具類	19,406	2,113,080	△135,858	1,977,221
丸鋸類	644,742	8,050,955	△2,868,561	5,182,394
商品他	14,521	585,111	△423,088	162,022
顧客との契約から生じる収益	784,859	15,298,693	△4,452,363	10,846,330
外部顧客への売上高	784,769	10,846,330	—	10,846,330
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	4,452,363	△4,452,363	—
計	784,859	15,298,693	△4,452,363	10,846,330
セグメント利益又は損失(△)	88,459	1,245,269	△263,343	981,926

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、ブラジル及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△263,343千円には、セグメント間取引消去△25,708千円、棚卸資産の調整額△225,608千円、その他△12,026千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。